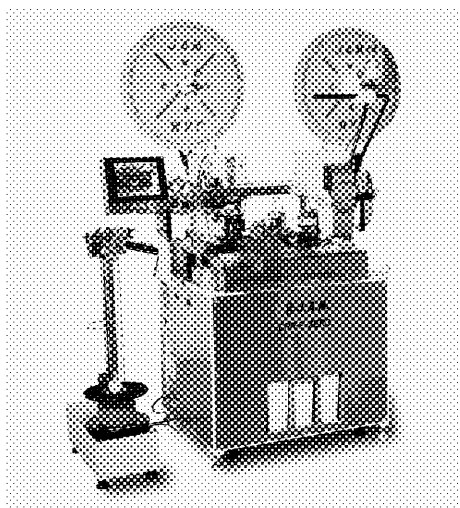


高速で電線端子圧着

日本オートマチック、民生用



日本オートマチックマシン（東京都大田区、水野雅文社長）は、従来機種に比べ高速で全自動端子圧着ができる機械を25日に発売する。家電やアミューズメント機器といった民生ハーネスメーカー向けの需要を見込んだ製品。消費税抜きの価格は750万円か

ら。初年度に世界で100台の販売を目指す。

投入する全自動端子圧着機「CPR-F-ZERO」は電線両端に端子を圧着する自動機。従来機「CPR-ZERO」の1本当たり0・9秒より速く加工ができる。機構の一部を見直したことでスピードアップを実現した。さらに従来の8センチから10センチに液晶パネルを拡大し、操作画面の視認性を向上させた。

加工可能な電線サイズは断面が0・03平方センチメートル。切断長さは30センチ。本体寸法は幅960センチ×奥行800センチ×高さ1500センチ。

両端圧着機以外に片端圧着・片端ハンダ処理タイプもラインアップした。25日に東京・有明の東京ビッグサイトで開幕するエレクトロニクス製造・実装技術の展示会「第37回インターコンジャン」に同圧着機を出展する。